

教員名：浅岡 章一	教員所属学科：人間心理学科
科目名：睡眠の心理学Ⅱ	
<p>全体的に非常に高い授業評価となっていました。これには受講人数が少ないことも多分に影響していると思われます。3年生以上が対象となっている専門の授業と言うことで、取り扱う内容も高度なものになっていたかと思いますが、「分かりやすさ」という点でも高い評価となり、安心しています。その一方で、予習・復習の時間も他の科目の平均と大差が無い点を鑑みると、もう1ランク高度な内容を取り扱っても良かったのかもしれませんが。今後は、より専門性の高い講義にしてみたいと思います。</p>	

教員名：薊理津子	教員所属学科：人間心理学科
科目名：人間心理学基礎	
<p>この科目は、学科の2年次以降の学習を効果的に進めるために必要な技能の学習と訓練を目的とした授業です。この授業ではExcelを使用する回を設けたり、専門の文献を読んで発表してもらいました。この授業の出席率は良く、評価平均は5.0でした。必修授業のためか、「この科目を履修する時にシラバスをよく読んだ」と「成績の評価基準を理解している」の評価平均がそれぞれ3.0、3.5でした。この授業が何を目的として行う授業であるのか、またその評価基準が理解されていないと思いました。次年度は、授業時に授業概要の説明および評価について丁寧に説明する必要性を感じました。</p>	

教員名：薊理津子	教員所属学科：人間心理学科
科目名：心理統計学	
<p>この科目では、心理学を学ぶ上で必須となる統計学を学びました。数値に苦手意識を持っている学生にとって辛い授業だったと思います。理解しやすい授業を心がけたためか、授業の分かりやすさ、話し方、教材などの授業内容に関する評価平均は全て4.0を超えていました。また、自由記述欄で、教え方について肯定的感想をもらえたことは嬉しいです。しかし、「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか」という設問の評価平均は2.3であったことは大変残念です。これは、多くの学生は週30分未満しか勉強していないということです。この授業内容で予習をするのは難しいと思いますが、復習はできるはずです。試験前にだけ勉強するのではなく、常日頃から勉強してください。</p>	

教員名：薊理津子	教員所属学科：人間心理学科
科目名：心理学研究法	
<p>この科目では、心理学の研究手法について学びました。この科目は他の心理学の科目と深くつながっている内容でしたので、様々な心理学の授業を受ける上で役に立ったと思います。自由記述欄で、授業の進め方に関するコメントをいくつかもらいました。いつも良い授業の進め方について考えてはいるものの、改めて授業の進め方の重要性を強く考えさせられました。</p>	

教員名：薊理津子	教員所属学科：人間心理学科
科目名：社会心理学調査演習	
<p>この科目は、これまで学んできた知識を活用し、社会心理学に関する調査を実際に行いました。ひとつの研究を仕上げる過程を学びましたので、授業時間外でも作業しなくてはならないこともあり、学生にとって負担が大きい授業であったと思います。しかし、負担が大きかった分、学ぶものが多かったと感じているようですね。「授業を通して多くの知識を得ることができた」の評価平均は4.7でした。この質問以外でも、軒並み高い評価平均値が得られましたが、「教員の授業に対する熱意を感じた」の評価平均が4.3であったことは少し残念でした。決して低い値ではありませんが、私自身はかなり熱意を持って、この授業に臨んでいました。このアンケートから、自分が思うほど、学生に熱意が伝わっていなかったことが分かりました。</p>	

教員名：金田正明	教員所属学科：経営社会学科
科目名：マクロ経済学	
<p>この授業に対して、高い評価を頂き、有難うございます。3名の方から、「難しいがためになる」とのコメントを頂きました。また、「とても楽しかったです」とのコメントもいただきました。授業回数が14回との制約があり、国全体の経済の動きをどのように見て分析するのかの初期的なことしかできませんが、例えば、日本政府が過去に行ってきた「所得減税、投資減税、公共事業」などの政策の有効性を判断する一つの道具（tool）をみなさんが得てくれたならば、幸いです。</p>	

教員名：金田正明	教員所属学科：経営社会学科
科目名：フードビジネスⅡ	
<p>高評価（4.7）をみなさんから頂きました。評価が高すぎると少し戸惑っています。みなさんからのコメントの中に、「食べ物や店についてわかりました」「食料の経済分析が出来るととても良い勉強になりました」などがありました。「面白かった」というコメントも頂きました。私たちの身近な「食料」に関しての勉強なので、みんなも自然に興味を持つことができたのではないかと思います。食品の表示。「原料原産地、原材料、添加物」など、購入前にチェックする習慣を身に付けてください。私の授業への評価とコメントを頂き、有難うございました。</p>	

教員名：川村幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：アメリカの文化	
<p>評価平均の各項目は全学平均とほぼ同じでした。自由記述ではほとんどが肯定的な意見でした。受講生の多くがシラバスをよく読んでいるという結果でしたが、事前事後学習にかかる時間が少ないのが気になりました。教室外での学習時間を増やす工夫が必要と感じています。</p>	

教員名：川村幸夫	教員所属学科：非常勤講師
科目名：Listening & Writing II	
<p>評価平均が全学平均よりも若干低かったのが気になります。ただ、事前事後学習にかけた時間が全学平均よりも高かったのは、エドクラテスを有効に利用した成果だと思われます。自由記述は肯定的な意見のみでした。今後もわかりやすい授業を続けていこうと考えています。</p>	

教員名：田辺江美子	教員所属学科：非常勤講師
科目名：邦楽概論	
<p>この科目のアンケート評価は、ほぼ全学平均と等しいものでした。わずかですが、4「積極的にノートをとる質問に答える」、5「予習復習に取り組む」、8「自分は評価する資格がある」の項目で、全学平均を上回っていました。このクラスの学生は、学年を超えて身近な法律問題を題材として、積極的かつ主体的に授業に取り組んでいた印象的なクラスでした。自由記述欄に記述した学生は、一名のみでしたが『人生を得する授業で、時事問題に興味を持つようになれました』という記述がありました。比較的小クラスであったことと学生一人一人のモチベーションが高かったことに感謝します。今後は、項目6「事前準備や復習に時間をかけたか」について、全学平均とほぼ同じ2.5の評価を上げるために、課題を工夫して、もう少し学習していけるようにしたいと考えています。みなさんには、予習復習の力がもっとあると信じています。</p>	

教員名：山本隆一郎	教員所属学科：人間心理学科
科目名：臨床心理学	
<p>この科目は2年生の通年必修科目であり、膨大で広範な内容に関して学ぶことに加えて、各種臨床心理学モデルの背景にある人間観など、抽象度も高く、学生さんの理解が難しかったように思います。しかしながら、全般的な評価としては4.5点と概ね高く、学生さんが熱心に参加してくれ、内容をよく咀嚼してくれたように思います。今後も、難しいことをわかりやすく、具体的で理解が容易なことをきちんと咀嚼できるような授業を心がけていきたいと思ひます。しかしながら、本授業に関わらずすべての授業の平均でもそうですが、予習や復習の時間が少ないという結果でした。本授業の内容は、抽象度も高いため、予習での理解は難しいと思ひますが、復習には時間をかけてもらえるようお願いしたいと思ひます。臨床心理学は、勉強するというより学問の探究を通じて人生を考える学問です。復習をしたり日常を学んだことで説明しようとしたりすることはきっと人生の役に立つと思ひます。ぜひ、授業が終わったから終わりではなく、学びを生かしてください。</p>	

教員名：山本隆一郎	教員所属学科：人間心理学科
科目名：人間心理学基礎	
<p>この科目は、基礎ゼミナールに引き続き、少人数のゼミナール形式で人間心理学科での専門的な学びの基礎力を付けることを目的とした1年生後期の必修授業です。概ね授業に関する評価は好意的（4.4）でしたが、これは主に、基礎ゼミナール内の学生さんの仲の良さに支えられたものだと考えています。人間心理学基礎は、学生さんの相互作用も多く、凝集性が評価に影響します。ぜひ「楽しかった」＝「良い授業だった」と誤解しないでください。この授業で大事なことは、今後の学びにおいて、人間心理学基礎で学んだ姿勢や自分で考え、創造していくことの真価は2年生以降で問われます。もし、その時にこの授業での学びを省察し利用することができたら、本当に良い授業だったといえるでしょう。</p>	

教員名：山本隆一郎	教員所属学科：人間心理学科
科目名：専門ゼミナール I	
<p>この科目は、3年生のゼミナールです。着任して初めてのゼミ生であり、各ゼミ生と関係を作りつつ、臨床心理学の研究の考え方から卒業研究のテーマ決め、ディスカッションとというのは、個人的に試行錯誤だった点も多くありましたが概ね高評価（4.5）を拝受しうれしく思っています。しかしながら、ゼミで最も重要な予習復習の時間に関しては、非常に低く残念に思っています。これらの評価を総合すると、「研究していないけど満足した」ということになります（発表資料の作成や夏休み課題を考えるともう少し自己学習したと思います）。このことはとても残念です。ゼミは大学での醍醐味です。せっかくなのでもっと自分の好きなことを調べるといふ学生時代にしかできない時間を貴重に使ってもらえたらと思います。</p>	

教員名：山本隆一郎	教員所属学科：人間心理学科
科目名：カウンセリング演習	
<p>カウンセリング演習は、臨床心理面接の進め方を演習形式で学ぶ科目です。この科目は、人間心理学科の3群科目であり、演習もあること、さらに初回の授業で「毎回でることと、演習に主体的に参加する意思のあるものみの参加をお願いしたいこと」を強調したために、人数も少なかったですが高い評価（4.9）を頂きました。受講学生さんはみな熱心に授業にコミットし、その結果体験の中で得たものが大きかったように思います。つまり、私が授業を作ったというよりも学生さんが主体的に臨んだ結果であると思います。主体的に学んだことというのは、大きな糧になります。このカウンセリング演習で学んだことを、日々の友人や家族とのかかわりの中で生かしてもらえたらと思います。</p>	

教員名：吉田 一康	教員所属学科：非常勤講師
科目名：企業と法Ⅱ	
<p>全般的に、平均値の高い評価をして頂き、どうもありがとうございます。特に設問 16「話し方は明確だった」が 4.7、設問 9「授業内容はわかりやすいものだった」、設問 10「授業を通して多くの知識を得ることができた」、設問 15「授業開始・終了時間は守られていた」、18「教員の授業に対する熱意を感じた」、及び設問 19「総合的に考えて、この授業を後輩や他の人に薦めたい」などが 4.6 の評価で、稚拙だった講義技術が、少しは上手くなったのかなと、やや安心しました。</p> <p>ただし、設問 13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」及び設問 14「専門知識や専門用語の説明はわかりやすかった」が 4.5 の評価であったことから、板書について配慮が必要と思いました。専門用語は、更にわかりやすい説明が必要に感じました。</p> <p>また、設問 6「この授業に関して、予習や復習などの事前準備や復習はどの程度時間をかけましたか」の評価が 2.7 だった点については、講義内で、次週のテーマの紹介や課題などを与えて、予習や復習を習慣づける工夫が必要と考えました。</p> <p>設問 7「成績の評価基準を理解している」が 4.3 だった点については、評価基準はシラバスに記載しておりますが、最初の講義だけでなく、その後も何度か、講義で説明する必要があるように思いました。</p> <p>学生の受講態度については、遅刻者と居眠りがややみられますが、講義中は、毎回、驚くほど静かで真面目なものでした。</p>	

教員名：吉村 季織	教員所属学科：非常勤講師
科目名：UNIX 演習	
<p>アンケートの設問への回答は、全学平均よりもやや低めである項目が多かったが、各回答を見ると高評価から低評価まで広く分布しているため、今回の授業に満足している学生が少なからずいることがわかりました。ところで、自己評価が低い学生は、授業に対する評価も低い傾向が見られます。授業をより興味深いものに改善することで、学生自身の授業に対する姿勢を改善できると期待されます。一方で、学生自身の授業に対する意識の低さが、授業内容の理解を下げているともいえます。学生も自身の学びを見直してみてください。自由記述を見ると、本授業では PC をこれまでとは異なる使い方をしたため、難しいと感じる学生が多いようですが、肯定的な記述が多くうれしく思います。授業内容に工夫した点については楽しんでくれたようで、工夫した甲斐があります。一方、UNIX が何なのかをまだ正しく理解していない学生もいるようなので、ぜひ振り返って理解を深めてください。</p>	